

3501

東都は六道都民は十念

昭和二十二年五月二十一日



六道は

地獄、餓鬼、畜生、

修羅、人間、天上、

ふり、都民は

七。顛八倒

九死十念

である



3502

伊東忠太、四分五裂煩悶す

昭和二十二年五月廿五日



3503

三老各八十二歳

昭和二十二年五月三十日



苦々八十一、句々潑充逸

法隆寺管長

佐伯定胤

數年後には

法隆寺の建築

は光彩燦爛

たる美觀と

あるのじや。

伊東忠太

數年の後

まで拙者の

寿命があ

ればよいが。

仁和寺門跡

岡本慈航

期年を俟たずして

仁和寺の建築が

国宝にあると思ふ。



3504

昭和二十三年六月二日

党派 年齢

經歷

片山内閣の顔ぶれ

顔ぶれに
あるか？

内閣総理大臣

片山 哲

社会

61

東大卒

外務大臣

芦田 均

民主

61

東大卒・法博

内務大臣

木村小左衛門

民主

60

早大警部中退

大蔵大臣

矢野庄太郎

民主

62

明大卒

司法大臣

鈴木義男

社会

54

東北大・東大卒

文部大臣

森戸辰男

社会

60

東大卒

厚生大臣

一松定吉

民主

73

明治法律卒

農林大臣

平野力三

社会

50

早大専門部卒

商工大臣

水谷長三郎

社会

51

京大卒

運輸大臣

吉米地義三

民主

68

東京高工卒

逓信大臣

三木武夫

国協

41

明大卒

国务大臣

西尾末廣

社会

57

党書記長

和

和田博雄

国協

45

東大卒

米

笹麦順造

国協

62

早大・米デングワ
大卒

米

米窪満亮

社会

60

東京高工商船卒

齊

藤隆夫

民主

78

早大
大卒

林

平馬

民主

65

日大卒

3505

順逆・逆轉して順天す

昭和二十二年六月七日



職工(燭光)

「社長はぬれ手で泡の悪党だ。おれおどは

一ヶ月働いて一萬

円は取れあ

いが、

社長

の手

品で、一ヶ

月百萬円

を取るのは

泥棒の様な

ものだね。

社長(奢嘲)

「……いや、

そうでもないが、

君の勉強は

相當です

よ。一ヶ月に

一萬以上に

上げますよ。泥棒

とは言はふいで頂戴。



新撰いろはカルタ(其二)

昭和二十二年六月十二日

忠太撰

い犬申あるけは叩き殺さる、
る論より拳固、

は花より團子の目より口先、
にくまれ口中勸告ふらば、
はほそい世帯に太い贅澤、

へ尻をひつて尻廣げる、

ど年よりの煮へ湯、

ち小さい聲で大きな事を、

り利口者は馬鹿にふれ、

ぬぬす人は堂々とぬすむ、

る留守番に鼠と猫、

な大きな聲で小さい事を、

わ分らぬ事は出鱈目胡麻かす、

か買つて見れば腐肉、

よ善い児がいつか悪い児で、

た誰れ申言ハぬが風が言ふ、

れ礼を知らねば義も知らず、

そ損して徳か、徳して損か、

つ土堅まつて石とある、

ね寝ても起きて立つて中駝目よ、

あ泣いて涙をあくの神さま、



3507

我八寶を失ひ三寶を得たり

昭和二十二年六月十八日



八宝は喇嘛に非ず
三寶は三種の神器
にも非ず佛法僧
にも非ず呵々



非ざるに非ずの夢

昭和二十二年六月二十三日



昭和二十年、国敗れて

より、全国民の旗幟

處を調應せられず、

之を統制し得る

者又無きが如し

斯の如くあらば、悪

流益を浸潤して終

三國を腐敗し悉す

へきである、嗚呼

千萬の内に、あま

人の死を賭しと

國家に殉ずる

忠臣志

非

百加

२५

五

卷之七



3509

逝ける人

自昭和二十二年一月
至同

育

昭和二十二年六月三十日



永野修身六

井上仁吉

楠瀬正雄

大島健一九二

掛谷宗一六

木下鑽次郎九

大隈信常七

田中久一

五十嵐力吉

飯島龜太郎

結城孫三郎六

船津辰一郎七六

片倉兼太郎六

兒玉秀雄七三

石原純交

平野耕輔七

高野辰之七

大島正徳六

副島嘉一八

杉浦貞二郎七六

乗杉嘉壽七

丸山尚九

内々崎作三郎七

土川正造四二

京極高頼六

北野恒富六

有吉忠一七五

阿刀田令造七〇

池田賢太郎

萩野伸三郎七六

松本重威

松井元興五五

福澤八十吉五

中村健次郎八六

血脇守之助六

澤鑑之丞八八

市村瓊次郎八

末松偕一郎七三

樺山資英四

久邇宮知子女王四一

3510

南洋捕鯨

未だ濠洲との承認
確定せざるか

昭和二十二年六月三十日



日本人の捕
鯨熟練は
世界第一で
米国人の舌
を捲く世界
第一大ある
抹香鯨は
体長十六乃至
二十二メートル、
第一に油と脂肪、
腸から龍涎香、
肉から骨まで
何でも益は立つ



3511

天歩艱難

填補甘軟
に非ず

昭和二十二年七月五日



國家も家計も大赤字

刻々縮小する再生産規模

七割占める食糧費

鑛工業は戦前の三割

農業も八割程度に減る

貿易輸入の八割が食糧関係

安易な職場に走る労働力

このまゝ行けば失業者千万

衣料・本年がどん底

住宅は四百万戸不足

足らぬ鋼材

車やレールの傷む一方

つまらない
手紙だ、
面白くも
可笑しくも
ない馬鹿
らしい思
文だ



危険郵便係が検査して
放免した印証 →



3980-4 '0'0'0

OPENED BY

MIL. GEN.-CIVIL MAILS

検關係が市民の郵便も開封して見る

西片町
ひと八

3512

郵便開封検査の御苦勞

昭和二十二年七月十日



夢に三種の効を見る

昭和二十二年七月十五日



一、頭尖にして頤平あり。
 即ち安定の坐。
 二、頭平にして頤尖れり。
 即ち不安定の坐。
 三、頭頤共に水平あり。
 二、相附着すべし。
 三、は傾離す。



3514

鷺鶴を鹵獲せよ

昭和二十二年七月十八日



鷺^{サギ}は詐偽に非ざるか
鶴^{ツル}はツル(狡猾)に非ざるか
鷺鶴を鹵獲せざれば
如何せん



3515

暑中往來の日本人風俗

昭和二十二年七月二十日



3516

小兒の力殺人盗を挫く

昭和二十二年七月二十四日



この月給とて迄増進するか

昭和二十二年七月廿九日



一ヶ月の

給料

総理大臣一万円
 諸大臣八千円
 議会長二万五千円
 副議長一万五千円
 特能力者一万円以上
 普通能者一万円以下
 高労働者五千円
 低労働者三千円
 大學教授二千五百円
 同助教授千五百円
 同講師百円
 養費さうい千円



3518

聖・愚・惡の三人

昭和二十二年七月三十一日



「おれは
悪人でも
天下に横行
して威張る者
である。」



聖人(現)

愚人

悪人

才学を志す

学に志せず

盗に志あり

平才立つ

立たず

虚偽に立つ

四才不惑

惑ふ

悪事不惑

五才知命

天命を知らず

天命を逆知す

六才耳順

耳順はず

耳逆ふ

七才不踰矩

矩を踰る

矩を踰て亡ぶ

孔子



「僕は悪人
でか世間
に面白く
生活して
居る者で
ある。」



縣	水害費額(円)
青森	75000000
秋田	700000000
岩手	90000000
宮城	146000000
山形	130000000
合計	1141000000



3519

東北水害復舊費
昭和二十二年八月三日



3520

日本藝術院問答

昭和二十二年八月七日

第一部 藝管・ボツクリ



第三部 ハチマ小僧

部二第
郎野ヤチホカ

3521

味噌野菜新價格追價

昭和二十二年八月十日

東京に於ける小賣
單價百匁の價格

現在の價格

茄子	百匁	二五〇	一七〇
とまと	〃	三五〇	一九〇
黄瓜	〃	二五〇	一四五
かぼちや	〃	二五〇	一七〇
大根	〃	一五〇	一二五
かぶ	〃	一七五	一二五
菜類	〃	一二〇	一〇五
人参	〃	二五〇	一九〇
きやべつ	〃	三〇〇	一七〇
玉ねぎ	〃	三五〇	二一〇
味噌(一匁)		二三六〇	一四五〇
〃		二六五〇	一五四五
〃(十匁)		三三〇	一八〇
醤油一斗		一四四〇	七六五〇
〃		一七〇〇	八四〇〇
〃(一合)		二〇八	一〇二



3522

酷暑

九十六度か
百度までか

昭和二十二年八月中旬



3523

可愛い小動物は日本人か

昭和二十二年八月十三日



3524

平和第三年を迎ふ

昭和二十二年八月十六日



第一年 昭和二十年八月

嗚呼殘念、

天柱挫け

地維飲け

て国土焦

滅にあつた。

第二年 昭和二十二年八月

益々苦しくあつて

來たが、兎も

角も、辛く命

を助かつた。

第三年 昭和二十三年八月

少しは回復

するかも知

れぬが、いや

まだく分ら





天皇家下北東北羗放

昭和二十二年八月十九日

3525



3526

八月の終日から酷暑漸次に低く
九月の初日から物價漸次に高し
昭和二十二年八月三十一日



九月高

八月低



3527

二百十日よ 静穏にして陰險が、
今日から 労働省を開く

昭和二十二年九月一日



二百十日
似博柔熟

労働省開
郎党照會

喜にして快
奇にして怪

治安維持
愚案意地

生命財散
正明在産

公衆道徳
講習導得



3528

A級戦犯
客疑者

放釋された廿三名

昭和二十二年九月三日



岡部長景
 鮎川義介
 中嶋知久平
 真崎甚三郎
 久原房之助
 村田省藏
 大達茂雄
 小林晴造
 正力松太郎
 緒方竹虎
 下村宏
 小林順一郎
 大倉邦彦
 水野練太郎
 太田耕造
 井田磐楠
 菊池武支
 松坂廣政
 進藤一馬
 鹿子木員信
 徳富猪一郎
 酒井忠正
 櫻井兵五郎



3529

マ元帥占領二十年報告

昭和二十二年九月七日



1 天皇から国民への主權の委
讓と基本的人權保護

2 民主的なる新憲法の立案

3 國會地位を國權の最高に
高めたこと

4 政治の地方分權と地方屬
の民主化

5 家族制度の改正と男女同
權の確立

6 超國家主義と侵略政策
策の中心にあつた指導者の
重要公職からの追放

7 一三〇を超へる超國家主義
軍國主義團體の解体

8 國家神道の除去

9 學制の改革

10 農地改革と封建的小作
制度の撤廢

11 財閥の解体と自由企業
制度の導入

12 労働組合組織の自由と搾
取制度の撤廢



3530

農村富裕東都究追

昭和二十二年九月二十三日

(大水害の爲)



農村

梨、林檎、瓜、豆、
薯、栗、葡萄、
柿、茸等々……
一家數十万乃至
数百万円の
金を獲得する
農夫の極楽。



大水害の影響

野菜や米穀も

何もかも、家具

家屋まで失った

人の地獄的苦

痛

東都

3531

関東の大水害

昭和二十二年九月廿八日

堤防決壊等の損害を惹きし為に死亡
数千人、田畠数千万歩を損失せり



3532

白晝の怪鬼暗夜の會觀

昭和二十二年十月四日



一寸の刃
千貫の怪を斬るか
否、満願の鳥



3533

狐狸には懲りるか

昭和二十二年十月十日



宮城前で憂世自殺

昭和二十二年十月十一日



福岡縣朝倉郡大福村大字大庭三三九無職

田中伊勢吉

六十五才

『戦災老人の訴えの遺書』

引揚戦災の戦争犠牲者をよそに
 利益をむさばる奴があり世はムシムシ
 だらけだ、米一升三十銭酒一升一円の時
 財金した十年間の金やヤミ値二百倍の生活
 で一月で底をたいた、政府の保護法
 案とも深くうけられん、之の息子は南方
 で戦死、死後の夢も破れた敗戦の苦杯
 を全国民を味はへ、



3535

惡流行

惡龍江よりめ甚し
ノ患は祖戀ふるか

昭和二十二年十月十三日



強盜竊盜
殺人婦人
汽車脫線
停電頻々
詐欺横着
往來誘惑
富而貧乏
貧而富贅
女子男装
男子女装
愚劣雜誌
無學愚書
利巧沈黙
馬鹿騷動



3536

歐土混沌獨逸緊縮

昭和二十二年十月十五日



3537

皇族十二氏公職追放

昭和二十二年十月十七日



すめら子の

落ち行きたまふ

秋の色



山階武彦	賀陽恆憲	同 邦壽	久通朝融	朝香鳩彦	同 孚彦	梨本守正	東久通稔彦	同 盛厚	竹田恆德	開院春仁
------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------



3538

米穀の過半は米國に飛ぶ

昭和二十二年十月廿二日



「日本の米はうまい
いや米穀てハあ
米國の事じゃ
日本から三千万石の
米が来るのだよ」

官

今年の米は七千

万石……

オット三千五百

万石だから

とても国民

の食糧には

足らぬいよ

農

今年の米は

少くとも七千万石

なのに、何とした

事じゃ

馬はウンと

喰はせないので

さいか？



3539

三學戰

帝國學士院
學術研究會
學術振興會

昭和二十二年十月廿五日



學研

學士の輩は
老いボレじや
皆追放
した方
がよい

學士

學士は
由來學
識第一の老學
者であ...

學振

一旦學士を
離追放して
改めて少數の學士
を入れるがよい



府縣	總數	府縣	總數	府縣	總數
北海道	2 3852850	山梨	807181	山口	1479640
青森	1180026	長野	11 2059475	德島	854207
岩手	1261466	岐阜	1493550	香川	717765
宮城	1565936	静岡	8 2352412	愛媛	1453265
秋田	1257432	愛知	5 3123140	高知	848312
山形	1336133	三重	1416286	福岡	4 3177330
福島	1992315	滋賀	857902	佐賀	917336
茨城	12 2013299	京都	1738820	長崎	1528320
栃木	1533966	大阪	3 3335515	熊本	1767513
群馬	1572784	兵庫	6 3056018	大分	1233683
千葉	10 2112853	奈良	779889	宮崎	1025430
神奈川	9 2217772	和歌山	960021	鹿児島	1746472
新潟	7 2418292	鳥取	587613	埼玉	1725430
富山	979058	島根	894357	東京	1 4407518
石川	927173	岡山	1619622	總計	77823114
福井	726304	廣島	13 2011646		

3540

府縣人口概數

昭和二十二年十月廿六日

前年より
五百万人以上
増加あり!

3541

大都市の人口概数

昭和二十二年十月一日現在



都市の順
は一變せり
勿論年の
巡りあれば
殆どある
驚く勿れ

市 人口

大阪 1559310

京都 999396

名古屋 853085

横浜 814268

神戸 607202

福岡 328586

仙台 263208

横須賀 261759

札幌 259602

川崎 252923

熊本 247607

岡山 247607

新潟 247607

長野 247607

岐阜 247607

愛知 247607

三重 247607

滋賀 247607

京都府 247607

175233

176666

185740

194049

197461

197461

197461

564408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

504408

3542

國民悲歎の涙
盜賊秘耽の唾

昭和二十三年十月三十一日



3543

昭和十一年十一月
明治之節三日輝
昭和二十二年十一月三日





3545

混々昏々又恨々
吞々貪々又鈍々

昭和廿二年十月十二日



3546

蓮子附近火藥庫猛爆

昭和廿二年十一月十六日



師走の二歩

昭和二十二年十二月一日



通行人「うしろ隠して

前見えぶ

るのか

「ヤー!

儲けたよ、

このゴマカシの

装束で



「ヤー! 借金を儲けたか?

ゴマカシの小賊だね、

帝國變じて日本とある

昭和二十二年十二月四日



帝國學士院は
日本學士院に



帝國藝術院は
日本藝術院に



帝國圖書館は
日本圖書館に



帝國博物館は
國立博物館に



3549

淺電閃電美殿宣傳

昭和二十二年十二月六日



明而暗。
暗而迷。

暗而明。
明而安。



3550





3550

降雪奇寒

東京都辺
氷点四度下

昭和二十二年十二月十七日



3551

一日毎に国力消耗す

昭和二十二年十二月二十六日



來年六月
国力衰頹
日本滅亡の
卦じや



來年六月
日本は
頓挫
する
結局日本
は立ち上
らぬ
？



3552

東條英機拷問さる

昭和二十二年十二月二十九日



東條

「日米漸次に軌轢して

如何ともすべからず。

全將兵の士気

盛盛、命令

一呼大任に

赴かんとす。

国民忠誠

の心は非常に

慍憤せり。

但し

陛下の御責任

は絶体

に無



3553

逝ける人

自二十二年七月一日
至二十三年正月一日

昭和二十二年十二月卅一日



松本忠雄 61

小西新右門 73

田川大書郎 79

伊達興宗 42

富田忠詮

泉二新熊 72

小野田静 61

喜安健器 63

高木秀一 55

常盤建尾 73

伊部貞吉 56

川村麟也 69

野口米次郎 73

上司小剣 74

林葵未夫

井上雅二

大石鑛吉 75

石川出鶴九 70

植村克己

天沼俊一

山本達雄 92

今井慶松 77

小幡重一 60

淺野藩二郎 64

菊池幽芳 78

中村大三郎 50

狩野直喜 80

山崎圭吉 71

清水澄 80

中村純九郎 95

幸田露伴 81

長澤徳玄 75

嶋田俊雄 71

椎名龍徳 61

藤島範平

白澤保美 80

小幡面吉 75

柳家小さん

石橋智信 62

木村鏡市 69

谷津直秀 71

水谷叔彦 83

三浦新七 71

渋谷慈鑑 75

吉江琢兒

出淵勝次 70

櫻内幸雄 68

塚越芳太郎 84

3554

本年の経歴

昭和二十二年十二月三十一日



旅行

法隆寺・仁和寺を訪ふ。建築視察
羽前米沢大川、高畠、山形、宮内にて巡行

日本學士院根本改正問題

文部省建築部を国立博物館に移さる

正倉院会議。東方文化學院廢滅の件

旧東京府廳建築解体。東京都美術館会議

追放調査幾回??? 斯文會解散

公私数件

紙の話

新聞社

建築のこと

新聞社

建築文化

(市川)
(東武)

大川中学校

日華の話

東方文化(帝大)

建築の談

早稲田大學

法隆寺の談

(金沢)

関東工業學校

東亜建築の話

(藤沢)

東亜研究会

支那及印度建築講和

東京帝大工學部

昭和戊子の新年

東京帝大新年

講話

3555

戊子（土の上の鼠）

昭和二十三年元日



猫と見て

鼠は忠と

逃にげに
けり



3556

米ソ睨み合い

トルマンとスターリン
昭和二十三年一月十二日



就驚ソントンの
通るまん

モ巣
クワの
巣たあ
りん



3558

殺人病流行

昭和二十三年二月三十日



3559

ガンジー翁暗殺さる

昭和二十三年一月三十日



3560

安眠か暗涙か

昭和二十三年二月十一日



3561

汝に往て汝に歸る

昭和二十三年二月十四日



3562

天地愈々分裂

昭和二十三年二月廿九日



3563

芦田内閣顔ぶれ

昭和廿三年三月十日



内閣総理大臣

民主党

芦田

均

62

京都

国務大臣

社会党

西尾末廣

58

大坂

外務大臣

首相兼任

北村徳太郎

63

長崎

大藏大臣

民主党

鈴木義男

55

福岡

法務總裁

社会党

森戸辰男

61

廣島

文部大臣

社会党

竹田儀一

55

石川

厚生大臣

民主党

永江一夫

47

兵庫

農林大臣

社会党

水谷長三郎

52

京都

商工大臣

社会党

岡田勢一

57

徳島

運輸大臣

国懐党

富吉栄二

50

愛媛

逓信大臣

社会党

加藤勘十

57

愛知

労働大臣

社会党

一松定吉

74

大坂

国務大臣

民主党

船田亨二

51

栃木

国務大臣

国懐党

栗栖赴夫

54

山口

国務大臣

民主党

野溝勝

51

長野

国務大臣

社会党

菅米地義三

69

青森

国務大臣

民主党

菅米地義三

69

青森

3564

青年の入校運動

(先生の入校運動也)
昭和二十三年三月二十五日



早稲田大學

學力
の外に
○○かの
力があれ
ば、
或は成
功するだ
らう



日本大學

五万圓の
①料を
出さなければ
だよ
五万円を
出せば
ダメマテ
入學
が出来
るぞ



3565

變蟲地中を出づ(溫暖ふる哉)

昭和二十三年四月一日



3566

不思議な逆闘

昭和三十三年四月十日



3568

學術よりは悞述の世の中

昭和二十三年五月五日



3569

生きたら解剖

昭和二十三年五月十六日



窮代現

窮和昭

國正大

苦治明

3570

四世痛過

昭和二十三年六月十六日



柔九八

重七六

從五四

充三二

3571

分らぬと言ふ分る人

詩

題

昭和二十三年六月二十日



3572

震災猛烈
福井縣昭和二十三年
六月廿八日

震災状況(25日午後6時現在)

郡市名	死者	傷者	家屋倒壊	焼失
福井市	2834	7235	31014	6068
坂井郡	1331	2514	4891	2001
足羽郡	229	599	4491	2
丹生郡			21	
今立郡			65	
吉田郡	300	1000	3658	510
計	4694	11248	44098	8581

福井市三郡全滅
被災者四十万、死傷三万命

3573

逝去の人

自昭和廿三年一月一日
至昭和廿三年六月卅日

昭和二十三年三月

昭和二十三年三月廿九日 三宅 達

今村明恒 79

菊池寛 61

小齋甚治郎 62

池田仲博 72

松井清足

鈴木貫太郎 82

山脇春樹 78

山崎達之輔 69

深尾隆太郎 72

米田實 71

中村梅玉 74

米内光政 69

木村謹治 60

長島毅 69

田中豐藏 68

出口仁三郎 78

川島芳子 33

大谷瑩誠 71

杉村廣藏 54

眞山青果 71

黒川兼三郎 56

佐久間巖 58

小山松吉 80

フナカン 62

倉富勇三郎 96

大石倫治 72

堀越千代 90

平塚廣義 74

三土忠造 78

木村榮三郎 69

山羽儀兵 54

山口察常 76

中野登美雄 58

三井高棟

明峰正支 73

山本慎平 78

吉岡美國

木村増太郎 65

加福均三 64

花田長太郎 52

石井茂助 52

安保清種 79

3574

いざ騒ぐてはふい
櫻は咲くよ

一ドル二百七十円

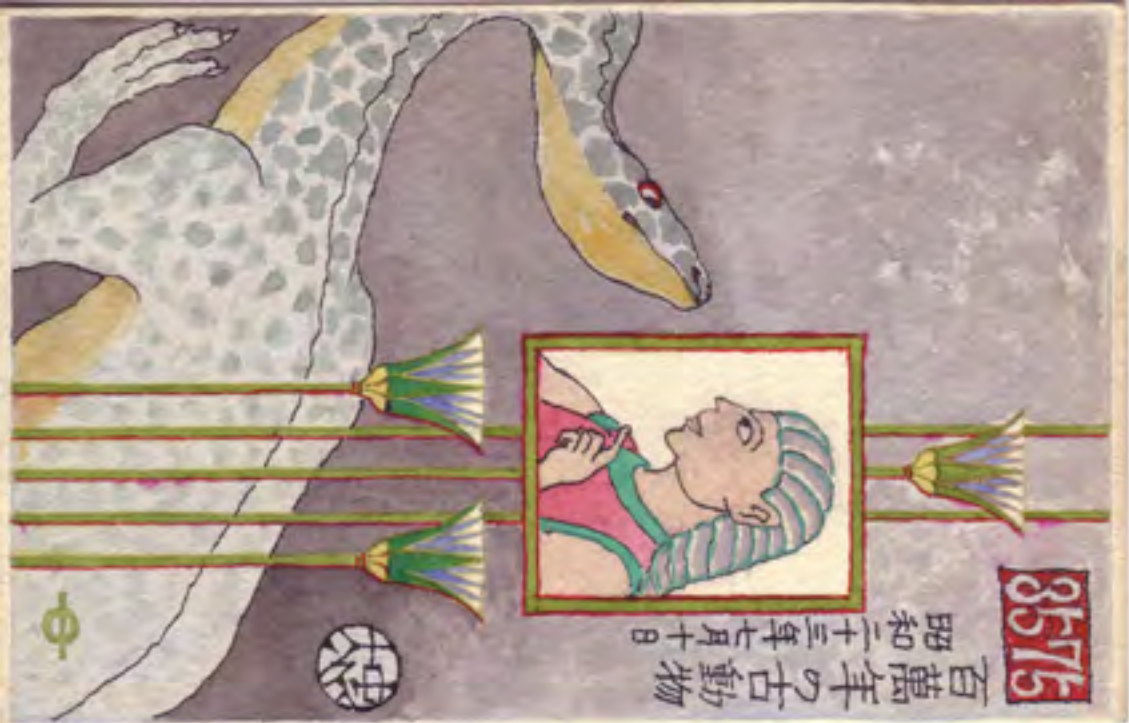
昭和廿三年六月六日



名 勝 伊 佐 之 久 保 ノ 櫻

8575

百萬年の古動物
昭和二十三年七月十日



3576

十字架か
千字^ハか
億兆か
無量劫とは
無料功



昭和二十三年
七月十五日



3577

迅雷風雨

鈍と鳴り
雑と降る

昭和二十三年七月二十三日



3578

鏡の變化、前後の苦樂

昭和二十三年七月三十日



右は苦
左は樂
前後は
何處か
善ありそ
護ある



3579

八十歳以上の老人

昭和二十三年八月五日



吉田文五郎	伊沢多喜男	藤原銀次郎	勝田主計	久原房之助	横山大観	宇垣一成	伊東忠太	池田成彬	若槻礼次郎	日比野実	六角紫水	小杉天外	長岡半太郎	橋本圭三郎	古島一雄	竹腰與三郎	牧野富太郎	牧野伸顯	尾崎行雄	田中館愛橘
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八一	八一	八二	八二	八三	八三	八三	八四	八四	八四	八四	八四	八七	八八	九一	九三



2580

数年来の豊作。六千二百萬石を期待
昭和二十三年八月十日

日本米の新潟四百七十八千石。オニは山形と北海道は
不思議の收穫 三百三十万石。其他東京は二十五万、大阪は十七万、山梨は四十
二万余高知、五十万、長野も五十万余、神奈川、四十七万、等々。

米收穫予想調査表

作 柄 作付面積 (反) 收穫予想 (反)

北陸道	124,128	2300,000
青森県	67,115	1,400,000
岩手県	69,500	1,220,000
秋田県	83,200	1,884,000
山形県	97,000	2,000,000
福島県	92,000	2,300,000
茨城県	87,000	2,183,000
栃木県	92,000	1,880,000
群馬県	79,278	1,400,000
埼玉県	89,373	1,880,302
千葉県	72,700	1,200,000
東京都	101,719	1,982,500
新潟県	9,508	200,000
富山県	23,098	477,195
石川県	172,581	4715,000
福井県	70,837	1,480,000
山梨県	40,107	1,118,000
長野県	45,711	700,000
岐阜県	16,732	421,638
静岡県	67,120	1,600,000
愛知県	89,000	1,800,000
三重県	64,700	1,250,000
滋賀県	82,440	1,060,000
京都府	65,638	1,400,000
大阪府	68,800	1,400,000
兵庫県	84,223	780,000
奈良県	30,919	772,114
和歌山県	80,007	1,541,000
徳島県	25,240	631,319
香川県	26,888	612,700
愛媛県	30,690	643,230
高知県	46,308	800,000
福岡県	76,000	1,600,000
佐賀県	63,000	1,306,432
大分県	61,800	1,040,000
熊本県	27,005	608,223
鹿児島県	31,280	700,000
宮崎県	26,000	810,000
鹿児島県	82,400	1,600,000
沖縄県	62,000	1,570,000
北海道	60,587	1,280,000
青森県	28,902	620,000
岩手県	76,000	1,650,000
秋田県	60,547	990,000
山形県	42,632	750,000
福島県	43,526	887,822

合計

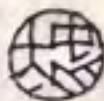
2,786,067 58,841,928



3581

動物即ち同佛

昭和廿三年八月十二日



大もあるけば

暴にあたる

牛と見へしよぞ

今は戀しき

鬼のはゆる

月に入るかよ

虎の皮

よく剥し見て

庭鳥の

暁の御結構

己の字を解け

蛇の兵備か

猪の勢

獅子にも

負けず

嗚呼阿房者

馬でも鹿でも

出て来あ



3582

韓國獨立

李承晚大統領
マクアーサー出席

昭和二十三年八月十五日



朝鮮

山頭白

平安北道

咸鏡南道

咸鏡北道

38'

38'

平安南道
黃海道

京畿道

江原道

忠清北道

慶尚北道

全羅北道

道南尚境

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

道南羅主

濟州島

濟州島

濟州島

濟州島

濟州島

濟州島

濟州島

濟州島

3583

幸運か發銃進め松青し

昭和二十三年八月十六日



伊東紅雲

八十二才

まだ若松也

九十九よ苦よ

蹢躅迎遭八十年
追懷既往轉儻然
漫呵筆硯瀝積鬱
贏得東陽兒女憐



3584

韓沖臺

昭和二十三年八月二十一日

沖繩も、やせて水も足らぬ！

臺灣は大碗

だ国の甘い

「朝鮮では無くあつた、
韓国にかつたが、嬉
しい面白い。」



3585

三度闘つて惨怒只買ふ

昭和二十三年九月十日



3586

台風一過秋晴

昭和二十三年九月十七日



「台風一過秋晴とか？
袋封一箇修正とは如何」

関東地方暴風雨橋流水溢る、陸中地方激水猛絶と言ふ



3587

秋季皇靈祭

昭和二十三年九月二十三日



アッと
間ちがい

臭気
肛例妻



3588

平沢貞通、帝銀犯行自白

昭和二十三年九月二十八日



去る一月廿六日帝国銀行推名町支店
に於ける行員十二名の毒殺、大万余四
の行金強奪と殺人犯行を自白せり
平澤

「諸君よく見よ毒は即ち
薬である。薬は毒に非ず、
譯讀を勉めよ。」



3589

内閣紛憤即ち糞噴あり

奮物又粉餌あり

昭和二十三年十月十日



吉田と
芦田だ。
即ち
葭と葦だ。
善と悪か。



3590

インレー膨張殷富麗か
昭和二十三年十月十七日



③ まだ
ズット高く
ぶつた

① このお菓子
一つ二十円?

④ 千万円
にもあろうが、
印譜例で
分らふい

② それは
五倍で
百円だよ



3591

吉田第二次内閣の顔ぶれ

昭和二十三年十月十九日

年俸運賃区（東京職員標準八）並還回数



長官 官房	国務	国務	国務	国務	国務	建設	労働	逓信	運輸	商工	農林	厚生	文部	法務	大蔵	外務	総理
佐藤栄作	井上知治	殖田俊吉	岩本信行	佐竹晴記	永田 清	益谷秀次	増田甲子七	降旗徳弥	小沢佐重喜	大屋晋三	周東英雄	林 讓治	下條康麿	(首相兼任)	泉山三六	(首相兼任)	吉田 茂
四八	六三	五九	五四	五三	四六	六一	五一	五一	五一	五五	五一	六〇	六四		五三		七一
	鹿野		神奈川	高地		石川	長野	長野	岩手	大阪	山口	高知	全国		山形		高知
(六)		(三)	(四)			(五)	(一)	(三)	(三)		(二)	(六)			(三)		(三)



3592

手足八本顔五面

昭和二十三年十月廿日



3598

光陰

昭和二十三年十月二十八日



一寸光陰不可輕
千尺光陰不可重

江戸以來烈震	一〇〇五
世界大震	九七七
江戸大火	九七六
世界大火	二五九

文化はブン蚊の如く
昇天は焼蟬して墜落す

3594

文化勳章

昭和二十三年十月二日



安田靫彦

(新三郎奉養)

大和絵歴史画の人

朝倉文夫

彫刻家

六十六歳

長谷川

如是開

(萬次郎)

七十四歳

木原均

京大教授理學

博士五十六歳

(遺傳學の權威)

上村松園津福

七十五才

京都市出身

美人画の名人



3595

神宮。

森たる嶋の境域
親遇これ門下

昭和二十三年十月三日



明治節。迷痴節に非ず

文化の日。分瓜の日なり



3596

東京裁判(訴因の多少の順次)

昭和二十三年十月四日

水戸幸一	五	四
平沼騏一郎	五	一
東條英機	五	〇
土肥原賢二	四	九
鈴木貞一	四	九
廣田弘毅	四	八
武藤章	四	八
星野直樹	四	五
賀屋興宜	四	三
東御茂徳	四	二
佐藤賢了	四	二
荒木貞夫	四	一
畑俊六	四	一
板垣征四郎	四	一
梅津美治郎	三	九
大島浩	三	九
嶋田繁太郎	三	九
岡敬純	三	九
木村兵太郎	三	九
松井石根	三	八
重光葵	三	七
小磯国昭	三	五
橋本欣五郎	三	三
南次郎	二	九
白鳥敏夫	二	五



東京裁判

昭和二十三年
十月十四日



姓名	年齢	出身	刑法	前歴
東條英機	六五	東京	絞首刑	陸軍大將、陸内首相等
廣田弘毅	七一	福岡	全	駐大使、外相、首相
松井石根	七一	愛知	全	陸軍大將、上海派遣軍司令
土肥原賢二	六六	岡山	全	陸軍大將、航空總監
板垣征四郎	六四	岩手	全	陸軍大將、陸相
木村兵太郎	六一	埼玉	全	陸軍大將、陸相
武蔵 章	五七	熊本	全	陸軍中將、軍務局長
木戸 幸一	六〇	東京	終身監禁	文内、厚相、内大臣
平沼騏一郎	八二	岡山	全	首相、樞府議長
賀屋興宜	六〇	廣島	全	藏省
嶋田繁太郎	六六	東京	全	海軍大將、軍令部総長
白鳥敏史	六二	千葉	全	駐伊大使
大島 浩	六三	岐阜	全	陸軍中尉、駐独大使
星野直樹	五七	東京	全	滿洲総務長官
荒木貞丈	七二	東京	全	陸軍大將、陸相、文相
小磯国昭	六九	山形	全	陸軍大將、拓務、首相
畑 俊六	七〇	東京	全	元帥、陸相、派遣軍司令官
梅津美治郎	六七	大分	全	陸軍大將、參謀総長
南 次郎	七五	大分	全	陸軍大將、朝鮮総督
鈴木貞一	六一	千葉	全	陸軍中將、企画院総裁
佐藤賢了	五四	石川	全	陸軍中將、軍務局長
橋本欣五郎	五九	福岡	全	陸軍大佐、翼賛会総務
岡 敬純	五九	東京	全	海軍中將、海軍次官
東郷茂徳	六七	鹿島	終身監禁	駐独大使、外相
重光 葵	六二	大分	終身監禁	駐英駐華大使、外相

北大西洋同盟諸國

ソ連國

3598

北大西洋同盟とアメリカ

昭和二十三年
十月十五日





專賣局



3600

煙草(キアメルとピース)

昭和二十三年十二月廿七日

キアメルは、
駱駝は樂である。
ピースは呼ぶ聲、
国家安寧平安也。
煙草一吹せよ。

